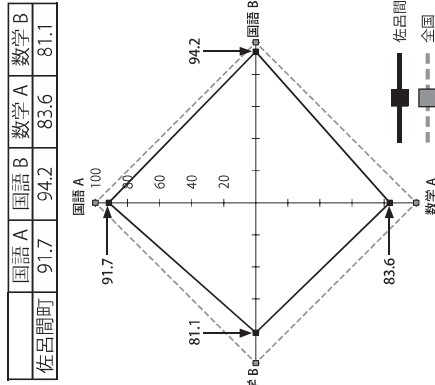


平成29年度 全国学力・学習状況調査結果

②生活環境や学校環境に関する調査結果 ※生徒質問紙により調査実施

	1日のテレビ視聴 (2時間以上)	1日のゲーム時間 (2時間以上)	休日の家庭学習 (1時間以上)	家で学校の授業の 復習をする
佐呂間町	71.7%	56.4%	59.0%	23.1%
全 国	49.1%	37.6%	61.6%	31.7%
佐呂間町	94.9%	59.0%	59.0%	38.5%
全 国	89.5%	51.5%	69.4%	50.5%

①教科に関する調査結果 ※平均正答率＝正しい答えの割合 ※教科ごとに全国平均を「100」とした場 合の佐呂間町の状況です。



中 学 校

- ①教科に関する調査
 - ▼国語A・算数・数学A
 - ▼国語B・算数・数学B
- ②生活環境や学校環境に関する調査
 - ▼児童生徒質問紙
 - ▼学校質問紙

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るために、小学校6年生と中学校3年生を対象に全国一斉に実施される調査で、次の内容が調査項目となります。

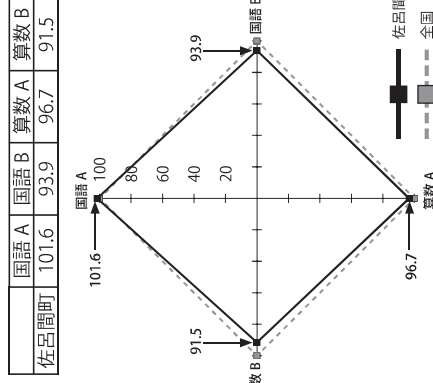
本年4月18日に全国で一斉に実施された全国学力・学習状況調査の結果について概要をお知らせいたします。佐呂間町には3つの小学校があり、それぞれ特色のある教育を実施しています。この調査結果においてもそれぞれの学校ごとに特徴があります。それぞれの学校ごとに結果をお知らせした場合、少人数の学校では児童が特定されてしまうことから、佐呂間町全体の子どもたちの傾向という形でお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査とは？

②生活環境や学校環境に関する調査結果 ※児童質問紙により調査実施

	1日のテレビ視聴 (2時間以上)	1日のゲーム時間 (2時間以上)	休日の家庭学習 (1時間以上)	家で学校の授業の 復習をする
佐呂間町	73.8%	50.0%	38.1%	57.2%
全 国	55.7%	31.1%	57.3%	53.8%
佐呂間町	92.8%	38.1%	38.1%	38.1%
全 国	96.9%	64.5%	38.1%	41.0%

①教科に関する調査結果 ※平均正答率＝正しい答えの割合 ※教科ごとに全国平均を「100」とした場 合の佐呂間町の状況です。



③分析
教科別では、国語A・国語B及び数学A・数学Bいずれについても、全国平均正答率を下回っており、各教科の基礎・基本の定着が十分ではなく、特に数学A・Bの調査では、全国平均正答率をそれぞれ16・4・18・9ポイント下回り、課題の残る結果となりました。領域別では、国語Bの「話すこと・聞くこと」の領域が全国平均正答率を若干上回りましたが、国語Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学A・Bでは「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の領域において、全国平均正答率を下回りました。生徒質問紙では、「家で学校の宿題をする」「自分で計画を立てて勉強する」が全国割合を上回っており、学習に意欲的な側面が見られますが、「テレビ視聴時間」や「ゲーム時間」が全国比率よりも多くなっています。18・8ポイント多く、学校質問紙では、教職員が生徒に対して家庭学習の課題を与え評価・指導し、さらに家庭での学習方法を具体例を挙げながら指導し、保護者に対しては生徒の家庭学習を促す働きかけをしていることがうかがえます。

今後の学力向上に向けて...

- ※町内教職員で組織する『学力向上委員会』において、「学力・学習状況調査」の分析や家庭学習のさらなる定着、ICTを活用した授業等について検討し、町全体の取り組みを推進していきます。
- ※佐呂間町単独で教員を配置し、きめ細やかな指導の充実を図っていきます。
- ※学びの連続性を保障するための小学校・中学校・高等学校間の連携強化に努めていきます。
- ※町内の学校が、それぞれ本調査の分析をもとに成果と課題を明確にし、課題解決に向けて一層の実践の推進を図っていきます。

※ICT教育：用語解説
情報通信技術の利用・活用を教育の環として取り入れた教育。
Information
(インフォメーション)
Communication
(コミュニケーション)
Technology
(テクノロジー)

